

## 安全データシート(SDS)

作成日:2017年9月14日

## 1. 製品及び会社情報

製品名:シロアリハンターエアゾール

整理番号:19655

版数:01

会社名:イカリ消毒株式会社

住所:東京都渋谷区千駄ヶ谷5丁目27番11号

担当部門:商品開発部 担当者:柴山 淳

担当部門住所:千葉県習志野市茜浜1-12-3

電話番号:047-451-5160

FAX番号 047-451-0916

緊急連絡先:商品開発部

電話番号 047-451-5160

推奨用途及び使用上の制限:不快害虫駆除剤

## 2. 危険有害性の要約

GHS分類 記載以外の項目は分類対象外もしくは分類できない

物理化学的危険性:

火薬類	区分外
可燃性・引火性ガス	区分1
可燃性・引火性エアゾール	区分1
高压ガス	液化ガス
引火性液体	区分外

健康に対する有害性:

急性毒性(経口)	区分外
急性毒性(経皮)	区分外
急性毒性(吸入:ガス)	区分4
皮膚腐食性・刺激性	区分外
眼に対する重篤な損傷・目刺激性	区分外
皮膚感作性	区分外
呼吸器感作性	区分外
特定標的臓器毒性(単回暴露)	区分2

環境に対する有害性:

水生環境(急性有害性)	区分3
水生環境(長期間有害性)	区分3

絵表示又はシンボル:



注意喚起語: 危険

危険有害性情報: 極めて可燃性・火性の高いエアゾール  
呼吸器への刺激のおそれ  
心臓の障害のおそれ  
水棲生物に有害  
長期的影響により水棲生物に有害

注意書き:

【安全対策】 ・熱/火花/裸火/高温のもの等は遠ざけること

- ・煙／ガス／ミスト／スプレーの吸入を避けること
- ・取扱後は手を良く洗うこと
- ・この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしないこと
- ・汚染された作業衣は作業場から出ないこと
- ・指定された個人用保護具を使用すること
- ・換気が充分でない場合には、呼吸用保護具を着用すること
- ・環境への放出を避けること

## 【応急処置】

- ・皮膚に付着した場合：多量の水と石鹸で洗うこと
- ・皮膚刺激又は発疹が生じた場合：医師の診断、手当てを受けること
- ・汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合は洗濯をすること
- ・吸入した場合：呼吸が困難な場合には、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること
- ・呼吸に関する症状が出た場合：医師に連絡すること
- ・眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- ・眼の刺激が続く場合：医師の診断、手当てを受けること
- ・暴露または暴露の懸念が有る場合：医師の診断、手当てを受けること
- ・気分が悪いときは、医師の診断、手当てを受けること
- ・漏出物は回収すること

## 【保管(貯蔵)】

- ・缶のさびを防ぐために水回りや湿気高い場所置かないこと
- ・換気の良い冷所で保管すること

## 【廃棄】

- ・内容物、容器は都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に廃棄物処理を委託すること。

## 3. 組成、成分情報

単一化学物質・混合物の区別 混合物

一般名:	ビストリフルロン	プロパン	ノルマルブタン	イソブタン
含有量	非開示	非開示	非開示	非開示
CAS No.	201593-84-2	74-98-6	106-97-8	75-28-5

## 4. 応急処置

- 眼に入った場合： 洗眼の際は瞼を指でよく開いて、眼球、瞼の隅々まで水がよく行き渡るように洗浄する。  
コンタクトレンズを使用している場合は、固着していない限り、取り除いて洗浄する。
- 皮膚に付着した場合： 触れた部位(手、顔、足等)を、石鹸を用いて多量の水で洗い流す。必要な場合は医師の手当てを受けること。
- 吸入した場合： 被災者を新鮮な空気のある場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。  
呼吸が弱かったり、止まっている場合は、衣類をゆるめ呼吸気道を確保した上で酸素吸入または人工呼吸を行う。呼吸をしていて嘔吐がある場合は頭を横に向ける。
- 飲み込んだ場合： 速やかに口をすすぐ。気分が悪い時は医師の診断を受けること。
- 応急処置をする者の保護： 救助者が有害物質に触れないように、手袋やゴーグル、マスクなどの保護具を着用する。

## 5. 火災時の措置

- 消火剤： 二酸化炭素、粉末消火器、散水、水噴霧
- 消火方法： 1) 火災に巻き込まれて製品が発煙した場合には、周辺の人を風上に避難させた後、空気呼吸器(ない場合は濡れタオル)及びその他の保護具を着用し、風上の離れた所から消火する。  
2) 周辺火災の場合、速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能な場合には、容器

及び周辺に散水して冷却する。

## 6. 漏出時の措置

- 除去方法:
- 1) 容器が破損し内容物がこぼれた場合は、漏出した場所の周辺にロープを張るなどして「立入禁止」とし、飛散したものを掃き集めて空容器に回収し、持ち帰る。
  - 2) 作業の際には必ず防護マスク、ゴム手袋、保護眼鏡及びその他の保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、ミスト、ガスを吸入しないようにする。風下の人を退避させ、風上から作業する。付近の着火源となる物を速やかに取り除く。着火した場合に備えて、消火用器材を準備する。
- 環境に対する注意事項: 漏出物を河川や下水に流してはいけない

## 7. 取り扱い及び保管上の注意

- 取り扱い上の注意:
- 1) 取扱中は、火気を近づけない
  - 2) 噴霧する際は、防護マスク、手袋、長袖の作業衣等を着用し、噴霧を確かめたら、直ちに退室する
  - 3) 噴霧中は、室内へ入ってはならない。又、噴霧終了後、入室する時は、あらかじめ出入口や窓等を開放し、十分に換気をする
  - 4) かぶれやすい体質の人は、取扱いに十分注意する。又、呼吸器官の弱い人、病中・病後の人は、絶対に使用してはならない
  - 5) 取扱い後は、顔や手等の露出部を、石鹸を用いてよく洗う
- 保管上の注意:
- 1) 容器は直射日光を避け、密封し冷暗所に保管する
  - 2) 屋外に放置して、散乱したり、水域に流失したりしないよう十分注意すること。可燃物の近くに置かない。火気、熱源より遠ざける

## 8. 暴露防止及び保護措置

- 設備対策: 取扱いについては、できるだけ密封された装置、機器又は局所排気装置を使用する。取扱場所の近くにシャワー、手洗い、洗眼装備を設置した方が良い
- 管理温度: 未設定
- 許容濃度:

物質名	許容濃度(暴露限界値、生物学的暴露指標)	
	日本産衛学会	ACGIH
ビストリフルロン	未設定	未設定
プロパン	未設定	1000ppm(2007年度)
ノルマルブタン	500ppm(2005年度)	1000ppm(2007年度)
イソブタン	500ppm(2009年度)	250ppm(2009年度)

- 保護具:
- |        |                     |
|--------|---------------------|
| 呼吸系の保護 | 保護マスク               |
| 眼の保護   | 側板付眼鏡またはゴーグル型保護眼鏡   |
| 皮膚の保護  | 長袖の作業衣・帽子・長靴・不浸透性手袋 |

## 9. 物理的及び化学的性質

- 外観(性状・臭気): 無色の液体
- 臭い: 僅かに臭気あり
- 融点: データなし
- 引火点: データなし(ガスは点火により引火する)
- 燃焼性: データなし
- 比重: データなし
- 自然発火温度: データなし
- 分解温度: データなし

## 10. 安定性及び反応性

危険性情報: 製品は缶詰となっているので、通常取り扱いでは特に危険性はない。  
高温の表面、火花、裸火により発火。

## 11. 有害性情報

物質名	有害性情報
ビストリフルロン	<p>急性毒性(経口):区分外 LD50雌雄&gt;5000mg/kgであり、区分外とする (経皮):区分外 LD50雌雄&gt;2000mg/kgであり、区分外とする 吸入(蒸気):データなし 吸入(粉塵):データなし 皮膚腐食性・刺激性:区分外 眼に対する重篤な損傷・刺激性:区分外 呼吸器感受性:データなし 皮膚感受性:区分外 生殖細胞変異原性:分類不能 発がん性:データなし 生殖毒性:データなし 特定標的臓器毒性(単回暴露):データなし 特定標的臓器毒性(反復暴露):データなし 吸引性呼吸器有害性:データなし</p>
LPG	<p>急性毒性(経口):データなし (経皮):データなし 吸入(蒸気):GHSの定義による気体である。 吸入(粉塵):GHSの定義による気体である。 吸入(ガス):モルモットLC50&gt;55,000ppm/H(ACGIH(7th,2001))【プロパン】 :ラットLC50(4時間)は277,374ppm(ACGIH(7th,2001))【ノルマルブタン】 :マウスLC50(1時間)値は124,000ppm(4時間換算値:62,000ppm)、 52mg/L(4時間換算値:11,000ppm)であるとの報告に基づき、区分外、区分4に該当するデータが各1つであることから、区分4とした。 【イソブタン】 皮膚腐食性・刺激性:ヒトで皮膚刺激性を検討したところ反応はnegligibleであった。 【プロパン】 :ヒトにおいて、ガス状の本物質は皮膚に対し刺激を与えないとの記載から区分外とした。【イソブタン】 眼に対する重篤な損傷・刺激性:DFGOT vol.20(2003)にウサギの眼を刺激しないとの記述があり、ヒトのガス曝露例に眼刺激性は報告されていないが、明確に有害性を否定する記述がないことから、データ不足のため分類できない。 【ノルマルブタン】 :ヒトにおいて、ガス状の本物質は眼に対し刺激を与えない(DFGOTvol.20(2003))との記載から、区分外とした。【イソブタン】 呼吸器感受性:データなし 皮膚感受性:データなし 生殖細胞変異原性:データなし 発がん性:データなし 生殖毒性:データなし 特定標的臓器毒性(単回暴露):ヒトへの影響として麻酔作用を示す。眠気及びめまいの恐れ。(区分3)【プロパン】 :ACGIH(7th,2001),DFGOTvol.20(2003)のヒトにおいて高濃度吸入で麻酔作用または中枢神経系抑制を示すとの記述から、麻酔作用があると考え区分3とした。【ノルマルブタン】 特定標的臓器毒性(反復暴露):ラットを用いた反復吸入曝露試験で毒性が認められ</p>

	<p>なかった記述あり。一方、ヒトの麻酔目的での反復吸入曝露例の多くに多幸感および幻覚がみられたとの記述から、中枢神経系に影響する可能性もあるが、他に反復曝露で中枢神経系への影響を示唆するデータはなく、データ不足のため分類できない。</p> <p>【ノルマルブタン】</p> <p>吸引性呼吸器有害性:GHSの定義による気体である。</p>
--	--

## 12. 環境影響情報

ビストリフルロン	<p>水生環境急性有害性:GHS区分1</p> <p>水生環境慢性有害性:GHS区分外</p> <p>魚毒性LC50(48時間):&gt;10mg/L(メダカ)</p>
LPG	<p>魚毒性:データなし</p> <p>残留性/分解性:データなし</p> <p>生態蓄積性:データなし</p> <p>土壤中の移動性:データなし</p> <p>他の有害影響:データなし</p>

## 13. 廃棄上の注意

- 1) 製品(掃き取り回収品を含む)及び容器等は適切に処理をする
- 2) 廃棄する場合には、都道府県知事の許可をうけた処理業者に処理を委託する

## 14. 輸送上の注意

- 1) 荷役中の取扱いは慎重丁寧にし、落下・衝撃等により容器を傷め内容物を飛散させてはならない。
  - 2) 運送中は直射日光や雨水の浸透を防止するための被覆等をするとともに、容器が転落・転倒しないように積載する。
- 国連番号:1950 2.1

## 15. 適用法令

消防法:	危険物第4類第三石油類
労働安全衛生法:	危険物・可燃性のガス(施行令別表第1第5号) 表示対象物質:ジエチレングリコールモノブチルエーテル (CASNo 112-34-5)
高圧ガス保安法:	適用法外(エアゾール)
毒物及び劇物取締法:	非該当

## 16. その他の情報

参考文献 シロアリハンターエアゾール 2017年3月30日 SDS 環境機器株式会社

記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、記載事項は通常の取扱いを対象としたものですので、特別な取扱いをする場合には新たに用途・用法に適した安全対策の実施をお願い致します。

### 【改訂履歴】

2017年9月14日:委託先 SDS により作成 整理番号 19655 版数 01